Q-ACT紹介

ACT ??

Assertive Community Treatmentの頭文字をとって「アクト」と呼ばれています。
欧米発祥の脱施設化プログラムで日本では「包括型地域生活支援プログラム」といいます。
このプログラムは、住み慣れた場所で、安心して暮らしていけるようにお手伝いするものです。

Q-ACT ??

看護師、作業療法士、精神保健福祉士、による多職種チームが２４時間３６５日、緊急時含めて生活の場に訪問して支援を提供する福岡県初のACTチームです。
福岡県の家族会のバックアップによって立ち上げられました。
現在、福岡市、北九州市小倉エリア、北九州市八幡エリア、久留米市、筑紫エリアの５チームが活動しています。

使命・目的・理念①
質の高い支援の提供

本人、家族、スタッフ、チーム、地域のリカバリーに向けて、それぞれのストレングスを活かした支援を実践する

使命・目的・理念②
成長支援・スタッフ育成

互いの成長を支援しアウトリーチで活躍する人材を育成していく

使命・目的・理念③
楽しく働き続けられる職場環境

すべてのスタッフが、自分らしく力を発揮して、いきいきと働ける職場をつくる

使命・目的・理念④
組織としての成長

フラットで民主的な組織を目指し自主運営、成長進化する目的、心理的安全性のもとのびのびと力を発揮する組織として成長を続ける



使命・目的・理念⑤
目指すべき社会と地域での役割

どこに住んでいてもACTの支援が受けられる地域になる
脱施設化を達成し、だれもが望んだ地域で暮らすことができる
強制入院が最小化され、人権が尊重される社会になる

Q-ACTは「成長・進化5カ年計画」（GROWING PEACH PLAN：GPP）をもとに運営しています

EXCLUSIVE INTERVIEW

聴かせて あなたの リカバリー ストーリー

STORY of MY LIFE

長期入院生活から地域生活に移行されたKさんをご紹介いたします。
Q-ＡＣＴが病院からの地域移行・地域生活支援を行っているKさんは、現在、グループホームに住みながら日中は就労支援継続Ｂ型事業所に通い、医療と福祉のサービスをうまく活用して地域生活を送っています。
これまでの入院生活や地域に出てからの暮らしぶりについてKさんやご家族、支援者の皆さんにインタビューしてみました！



長かった入院生活

「最後の入院生活は１１年。正直言っていつになったら退院できるやろうか。妹が死んだら俺、ここでこのままか？不安があったよ」

いざ地域へ！

「退院が決まったときは嬉しかったけど、その時はボーっとしとったね。今思えば。退院した時、Q-ACT の職員さんが買い物に行きましょう！と言ってくれたけど、体は弱ってフラフラでね。動くのが辛くて泣きそうやったよ。
退院したら好きなことができる。特技の民謡もね。九州で１位になったことがあるし、日本で２位になったんよ（インタビュー中に一曲披露♪）
ラジコンも趣味でね。少し体力もついてきて、今は就労継続Ｂ型事業所に通って仕事もするようになった。これから働く時間を少しずつ増やすよ。」

これからやってみたいことは

働いて、早く稼いで一人暮らしがしたい。妹や弟を呼べるような２ＬＤＫ位の広いマンションに住みたいね。あと、彼女も欲しい。好きな女性のタイプはいきものがかりのボーカルの吉岡聖恵さん。
長く入院している人には頑張って退院してほしいね。」

家族の想い

「約２０年の入院生活からの退院で本人は念願叶って嬉しそうでしたが、父は一生退院できないと考えており、説得が大変でした。
しかし、しっかりとした支援体制で本人も家族も安心して地域移行することができ、大変感謝しています。」

Kさんのサポーター

一人暮らしをしたい、というＫさんの目標に向かって、一緒に買い物に行く練習や受診の支援などを行いながら応援しています。

★グループホーム「心の駅」



★就労継続Ｂ型事業所「さんらいず小芝」

軽作業に従事していただき、どの仕事もとても丁寧！
これから利用日を増やして稼いでいくと、やる気にあふれています！
仕事中は寡黙ですが、趣味の話では笑顔で饒舌に話してくれます。





退院して５年間、Kさんは再入院することなく地域生活の中でリカバリーの道を歩み続けておられます。
これからのKさんも、そして後に続く方々も、私たちは応援し続けます。

Q-CAFE OPEN

Q-ACTは、ご利用者さんが一歩踏み出すきっかけづくりとして、気負わず参加できる場の提供を行っています。
ご利用者さんとともに企画もしながら、誰かと一緒に活動することの楽しみを実感したり、活動の中で誰かの役に立つことで力を取り戻したり・・・そんな活動の様子をご紹介いたします。
日々、皆さんが頑張っていることもご紹介していきますね！

MENU

Community

4月お花見



青空のもと、桜が本当にきれいでしたね！小倉城の中を見学したり、みんなでレジャーシートを敷いてお弁当を食べたり・・・。
非日常を楽しみました。みんなと一緒だと結構歩けましたね！　次はバーベキューしよう！なんて話も出ましたよ～！



5月企画会議

やはたと北九州で合同開催予定の７月バーベキューに向けて、企画会議を行いました！どこでする？買い出し担当は？チラシ作りはだれが得意？下見に行かなきゃ！などなど、話し合いの中で皆さんが役割分担していきました。
一つのことをみんなで作っていく工程が楽しいですね。今日、はじめましての方同士も仲良くなれた気がします。







わがまちのキラリびと

今回は浅野社会復帰センターひこうき雲（地域活動支援センター）に勤務されているピアサポーターの竹内信治さんにズームアップ！



これまでの歩み

高校卒業後に調理師免許を取得してホテルなどで仕事をしてきましたが、精神疾患を患い２年の入院生活を送りました。
退院後はずっと自宅に籠っていましたが、その後、病院デイケアや浅野社会復帰センターに通うようになりました。

ピアサポーターになったきっかけ

デイケアのソーシャルワーカーさんの勧めでピアサポーター養成講座を受けたあと、浅野社会復帰センターの職員さんにピアサポーターとして働かないかと誘ってもらいました。
週３日５時間/日、勤務しています。

ピアサポーターとしての役割

自分の声かけが正しいかどうかはわかりませんが、ひこうき雲の利用者さんの生活の悩み相談や通所先での出来事についての相談を受け一緒に話しています。
カフェの会でどこに行こうか、と活動も一緒に考えています。

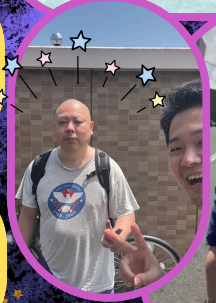
みなさんへのメッセージ

誰でも迷ったり悩んだりするから、相談できる人はいたほうが良いですよ！私も周りに相談しながら、体調によっては仕事のペースを下げたり内服薬の調整をしたり。生きていたら楽しいことも悲しいこともあっていい。親との別れとか・・・。
色々あったけど、今は人との出逢いも、仕事も、楽しみになっていますよ！

普段はメダカの飼育をしたり、おしゃれなスーツを作りに行ったり、好きなキャップを集めたりと日常を楽しんでおられるそうです。
今日も、とっても素敵なオーダーメイドのスーツを着てインタビューに臨んでくださりました。竹内さん、ありがとうございました！

自転車通院チャレンジ

Jさん、初めてでしたが片道７キロの道のりをQ-ACTスタッフも同行し往復を完走。
今後、モノレールの利用にもチャレンジ予定です。このように、地域で暮らすために必要なスキルを身に着けられるようサポートします。



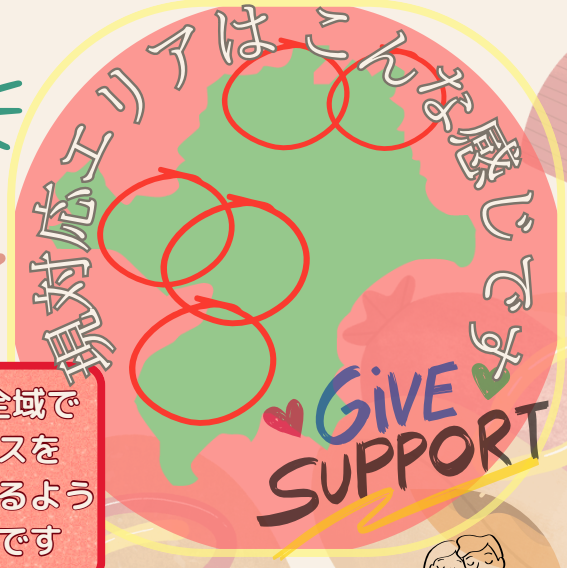


Challenge

一般社団法人Q-ACT

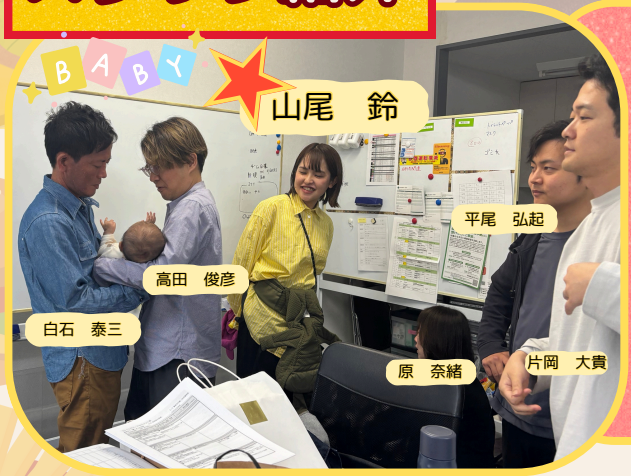
■Q-ACT（福岡市早良区重留2-19-5-1-B103）092-980-2165
■Q-ACT北九州（北九州市小倉北区東篠崎3-4-13 B棟5号）093-383-9237
■Q-ACTくるめ（久留米市瀬下町385 2階）0942-80-2439
■Q-ACTやはた（北九州市八幡西区則松4丁目7-41 2階）093-482-7514
■Q-ACTちくし（筑紫野市二日市中央3-9-18 二日市中央エクセル19 201号）
092-925-8181

ホームページはこちら



福岡県全域で
サービスを
提供できるよう
拡大中です

スタッフ紹介





はじめまして！Q-ACT北九州の山尾鈴です。
広島出身、趣味はバスケットボール、現在第二子出産後、育児休暇中です。利用者さんたちが私の出産を一緒に喜んでくださったことがとても嬉しかったです。
Q-ACTの仕事でかかわる利用者さんたちが前を向き、人生の新たな一歩を踏み出される瞬間に立ち会えることがこの仕事のやりがいだと感じています。
育児休暇から復帰後には更にパワーアップして支援に携わりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします！

UPDATE



ピアスタッフ募集中！

医療・生活支援・リハビリテーション・就労支援・家族支援などを包括的に届けるチームに一緒に参加しませんか？
現在、やはたチーム、ちくしチームがピアスタッフを募集しています！
仲間になってくださる方、ご連絡お待ちしています！
連絡先:TEL: 070 5469 3991 mail:qact.suda@gmail.com 担当:須田まで